

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横浜市立西金沢義務教育学校] 担当教諭名 [國府田 優美子・都倉 寛徳] (6年1-3組 86名)
 相手国・地域 [ルワンダ]
 海外学校名 [2&5 Christian Academy] 担当教諭名 [石井 理紗子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	世界につながる SDGs	32

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	不平等と国際平和について私たちが考えるべきこと・すべきこと
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界の現状を知り、それぞれの国の文化・歴史から学び、自国と相手の国の文化や歴史を尊重し合う心を大切にしよう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
海外の同世代の子どもたちとつながることで学習意欲が飛躍的に高まった。また、ルワンダについていろいろなことを知りたいという意欲が高まった。	夏休みや冬休みなどお互いにずれがあり、学習の進捗が予定通りにいかず、協働的な学びにつなげることが難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
国内規模で考えるだけでなく、世界的な規模で考えることが大切だと認識できた。	細めに連絡をとり、子どもたちの意識を常に高まった状態にしていかなければならないことを実感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月	教師間の自己紹介 写真付きの児童紹介 学習テーマを調べ、課題の発見につなげる	相手国を知ること、相手国の児童について知ること興味関心が高くなっていた。	総合
共有 相手と意見交換	9月 10月	それぞれが調べたことを共有 類似点や相違点を共有 それぞれでまとめた意見をもとに教師間で意見交流	相手に発信するために、子どもたちがグループごとに考えをまとめようと意識していた。	総合
融合 メッセージ作成	11月	お互いの課題を尊重しながら、それぞれのメッセージの調整	自分たちの思いだけでなく、相手の思いも尊重しながら考えることができていた。	総合
創造 壁画制作	12月	メッセージをうまく表現できるようなデザインを一人ひとりが考え、一つの壁画を制作	相手と共同で作品を制作する活動が本校として初めての試みであったため、興味津々で取り組む子どもたちの姿が見られた。	総合
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	完成した壁画を保護者にもお披露目するなど、アートマイルプロジェクトを通して今後の生き方について考えた	自分たちが仕上げたアートが全校生徒にも見られ、一年間の学習の集大成として満足していた。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	交流した場面で相手の発言や質問に対し、真摯に答える姿が見られた。また、事前に発信したい内容も充実しており、6年担任一同子どもたちの熱心さに驚かされた。
主体的に考え行動する力	4	情報収集の場面では、自分たちから休み時間も使いながら、調べたことをまとめて、発信しようとする姿が見られた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	批判的な思考よりも、相手の考えを客観的に受け止める姿勢が身に付いてきた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	交流した場面は真剣であったが、相手側の通信環境が良くない時期があったこと、お互いの子どもたちが学校にいる時間の重なりが少ないことで交流回数がかかなり少なくなってしまうことは課題である。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	一人ひとりが真剣に考えることはできていたが、子どもたちの人数も多く、一人ひとりの思いをうまく反映することができなかった点は課題として残った。